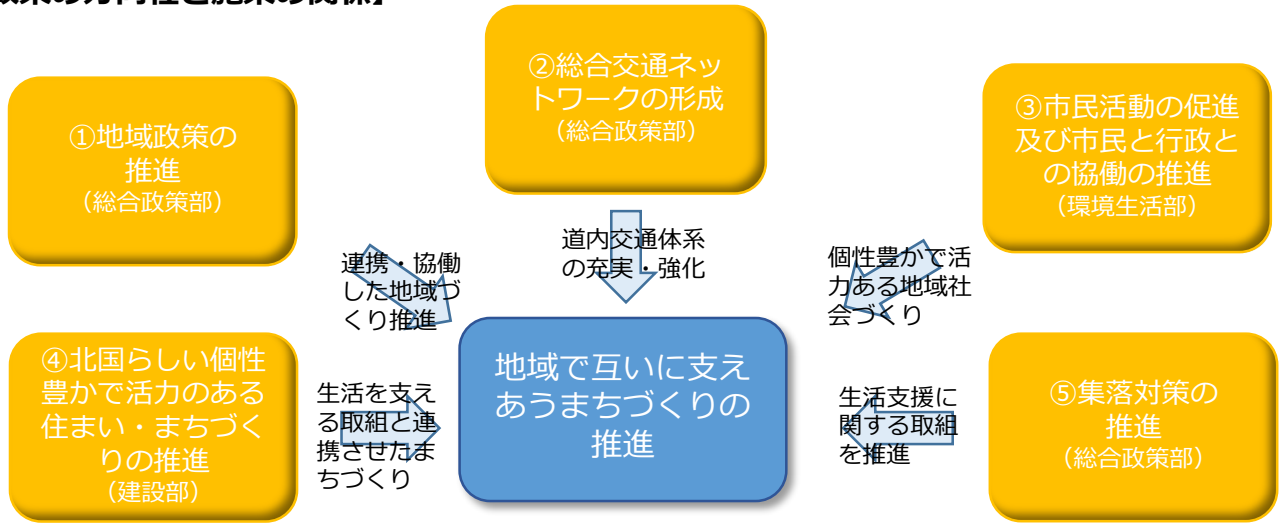


【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組	総合評価
①地域政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や少子高齢化の進行により、地域の経済や暮らしなど様々な分野への影響を懸念 地域振興を効果的に推進していくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体による地域活性化に向けた取組を促進 企業や人材等のマッチングや企業版ふるさと納税の活用促進のための情報を発信 地域活動の担い手となる人材の育成やサポートを実施 ほか4つの取組 	概ね順調に展開
②総合交通ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> 持続的な鉄道網の確立が必要 人口減少や少子高齢化が進行 住み慣れた地域で安全・安心・豊かに生活することができるよう、地域の交通や物流の確保に向けた取組の推進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体が一体となった協議・検討体制による施策の推進 シームレスな交通体系の実現に向けたモデル的な取組 生活交通の維持・確保と利便性の向上 	効果的な取組を検討し引き続き推進
③市民活動の促進及び市民と行政との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティを支える人材不足 地域の担い手としての役割が重要 個性豊かで活力ある地域社会の実現することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動促進センターの利用促進 市民活動に関する情報収集・提供、学習機会の確保、人材育成等 公益的活動に取り組む団体へ活動費助成 ほか5つの取組 	概ね順調に展開
④北国らしい個性豊かで活力のある住まい・まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 生活関連サービスやコミュニティ機能の維持が課題 良質な民間住宅の普及促進などのまちづくりの推進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 「北の住みいるタウン」の推進 景観行政団体への移行、景観計画策定などへの助言 北海道景観づくりサポート企業登録制度により、協働による多様な景観づくり 北方型住宅施策等の推進 ほか7つの取組 	概ね順調に展開
⑤集落対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 集落をはじめ市街地でも働き手や地域コミュニティを支える人材が不足しているほか、購買力が減少 小売店の閉鎖などにより、買い物が増加しており、生活支援に関する取組の推進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 集落対策の普及・定着に向け、これまでの取組事例などを積極的に発信 地域の仕事掘り起こしや情報提供の促進 集落対策検討の基礎データとするため、北海道集落实態調査を実施 ほか6つの取組 	概ね順調に展開

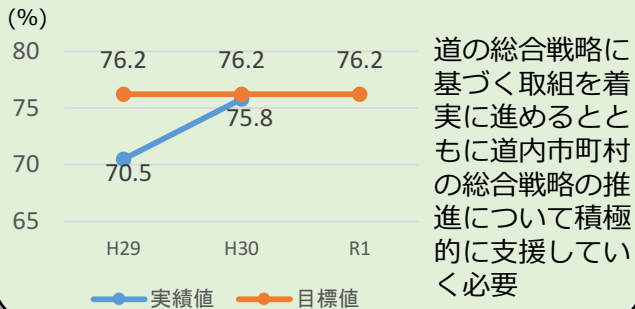
3 分野：人・地域

(1) 政策の柱：協働によるまちづくりの推進や地域コミュニティの再構築

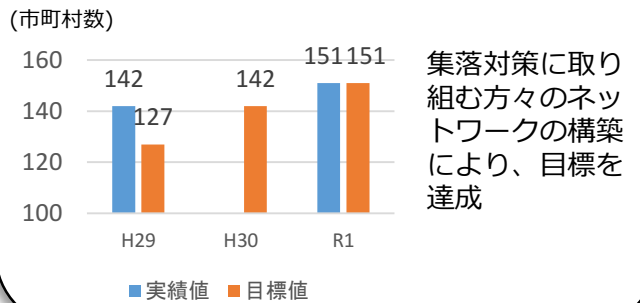
A 政策の方向性：地域で互いに支え合うまちづくりの推進

【総合計画の指標】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合(施策①②④)

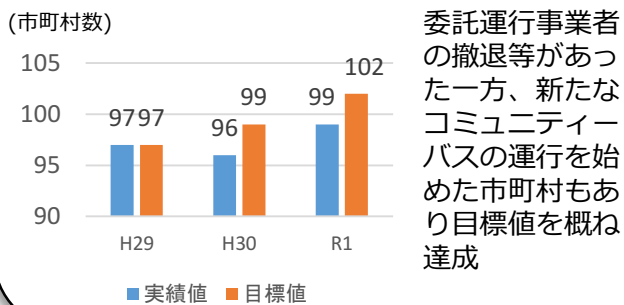


集落対策を実施している市町村数（集落対策に取り組む市町村数）（施策⑤）

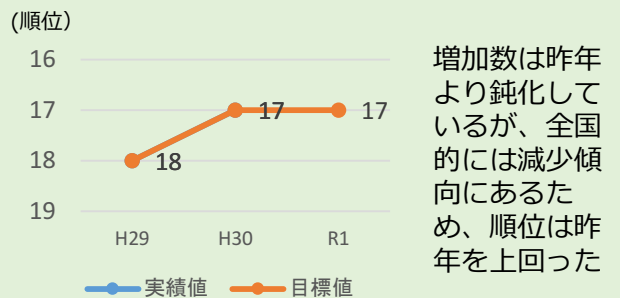


【関連指標】

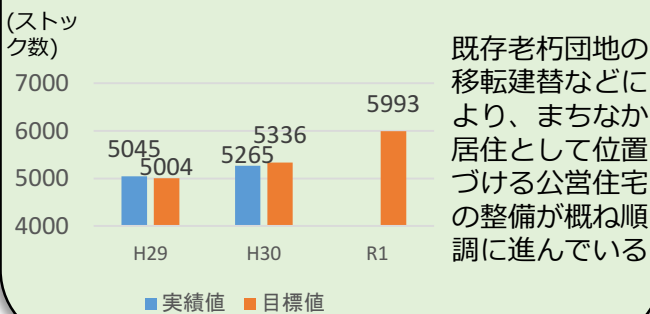
地域交通確保に向けた取組を実施している市町村数（累計）（施策②）



NPO法人数（都道府県順位）（施策③）



まちなか居住の位置づけとして整備する公営住宅ストック数（施策④）



食料品などの日々の買い物に「満足している」、「やや満足している」人の割合（施策⑤）

